



# むなかた市議会だより

令和4年12月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

## \*あけましておめでとございます\*



神谷建一議長

平素より市政運営並びに議会運営に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年5月に伊豆市長が再選され、2期目の市政運営が始まりました。議会は二元代表制のもと、ともに住民を代表する首長との緊張関係を保ちながら、対等の機関として基本的な方針を決定し、その執行を監視するとともに、積極的な政策提案を通して、議会の役割を果たしてまいります。

昨年11月には各常任委員会が新しい構成となり、任期後半の2年間に臨みます。新型コロナウイルス感染拡大から開催できていなかった議会報告会や、行政視察を含む所管事務調査、議会基本条例の見直しの検討、より開かれた議会となるべく、今後も積極的に議会改革に取り組んでまいります。

議会として、住みよいまち「宗像市」を目標に、多様な意見に耳を傾けながら、皆さまに寄り添った身近に感じられる存在を目指してまいります。

結びに、皆さまにおかれましては、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますことを切にお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって幸多き1年となりますことを心からお祈り申し上げまして新年のあいさついたします。

公職選挙法では議員は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。市民の皆さまのご理解をお願いします。  
宗像市議会議員一同

令和4年11月11日の臨時会で副議長選挙が行われ、新たに吉田剛議員が副議長に選出されました。

### 【副議長就任あいさつ】

このたび、副議長の重責を受けさせていただきました。円滑な議会運営のため、議長を支え、議会の活性化に努めてまいります。不易流行の言葉のとおり、伝統と新しい感性を織り交ぜながら激変する時代に宗像市議会の最適化を図ります。急逝された末吉議員の「一人一人の議員の意見を尊重する民主的な市議会」という想いを受け継ぎ、精進いたします。



吉田剛副議長



後列左から石田和代議員、伊達正信議員、森田卓也議員  
前列左から川内亮副委員長、井浦潤也委員長、岡本陽子議員

**総務常任委員会**  
担当：総務部、経営企画部、教育子ども部、監査委員および公平委員会の所管に関する事項、他の委員会に属しない事項



後列左から上野崇之議員、笠井香奈枝議員、吉田剛副議長  
前列左から福田昭彦議員、新留久味子委員長、石松修副委員長

**社会常任委員会**  
担当：市民協働環境部、健康福祉部の所管に関する事項



後列左から安部芳英議員、木藤裕司議員、岩岡良議員、  
前列左から小林崇二副委員長、北崎正則委員長、石松和敬議員

**建設産業常任委員会**  
担当：都市整備部、都市再生部、産業振興部、下水道課および農業委員会の所管に関する事項



後列左から新留久味子議員、北崎正則議員、吉田剛副議長  
前列左から井浦潤也副委員長、石松和敬委員長、伊達正信議員

**議会運営委員会**  
担当：議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する事項

## 委員会のメンバーが かわりました

令和4年11月11日に臨時会を開催し、常任委員会と議会運営委員会の委員がかわりましたのでご紹介します。

## 令和4年 12月定例会の あらまし

令和4年第4回宗像市議会定例会を、11月25日から12月15日までの21日間で開催し、市長提案議案17件、議員提案意見書案2件、決議案1件について審議を行い、全て可決しました。令和4年度一般会計予算の総額は433億8686万1千円となります。

### 主な議案

多数決  
賛成可  
宗像市手数料条例の一部を改正する  
条例について

マイナンバーカードの取得・利用促進と市民サービス向上のため、カードを利用した住民票などの証明書取得にかかるコンビニ交付手数料を令和5年1月4日から令和6年3月31日まで一律100円に減額する。

### 主な意見

(賛成者の意見)  
▽カード活用でさまざまな給付がスムーズに行われれば、市民サービス向上につながる。大胆な取り組みを評価する。

(反対者の意見)  
▽マイナンバー制度の根本を問うべき。この取り組みは、カード交付率の自治体間競争をあおるだけで、評価できない。

### 主な議案

多数決  
賛成可  
一般会計補正予算  
(第5号)

○物価高騰対策に係る事業費の増額  
福祉施設や事業者などに支援金を給付する。  
①地域路線バス事業継続支援 (672万円)  
②高齢者施設などへの支援 (4977万1千円)  
③障害福祉サービス事業所などへの支援 (2180万7千円)  
④保育所などへの支援 (717万2千円)  
⑤農業者への支援 (123万4千円)  
⑥漁業者への支援 (1800万円)  
⑦運送事業者などへの支援 (2694万6千円)

○脱炭素社会推進事業費の増額 (200万円)  
飲食物の宅配やテイクアウトなどを行う事業者に、テイクアウト容器等プラスチック代替品導入支援補助金を交付する。

○大型モニター購入費 (GIGAスクール推進事業費) の減額 (▲7730万6千円)  
契約金額が予算額を大幅に下回ったため減額する。

○県立特別支援学校誘致事業費の増額 (7700万円)  
「工事工程の見直し・安全対策の追加」「地下埋設物の対応・根株処分費の増」「樹木伐採処分費の増」「物価高騰」などの要因で工事費を増額する。

○出産・子育て伴走型支援事業費の計上 (1億3267万円)  
妊婦や子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施。令和4年4月以降に出産した人を対象に、妊娠届出時に出産応援ギフトとして現金5万円、出産時に子育て応援ギフトとして現金5万円を支給。

### ○広報紙のポスティングによる全戸配布への移行 (債務負担行為)

令和5年度は調整できたコミュニティからポスティングに移行し、残りのコミュニティは、ポスティングへの移行について協議する。広報紙は令和5年5月から月1回の発行とする。

### 主な意見

(賛成者の意見)  
▽歳入での市税増額は、住宅都市としての施策や企業誘致の効果が出てきた結果と考える。  
▽物価高騰対策について、多分野での対応を高く評価する。  
▽脱炭素社会推進事業は、リユース容器的利用促進によって焼却を減らす視点も必要。

(反対者の意見)  
▽県立特別支援学校誘致事業費の増額は、測量調査が妥当だったのか、調査時に予測できなかったのか納得できない。

多数決  
賛成可  
一般会計補正予算  
(第6号)

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和4年12月定例会

# 一般質問

令和4年11月28日から12月1日までの4日間にわたって、17人の議員が合計28項目の質問を行いました。

- ◆議員が質問を届け出た順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問の詳細については、録画映像もしくは3月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。

**問** 学童保育所の冬季休所は12月30日からとなっている。指導員の人手不足などに鑑み、働き方改革として29日を休所にできないか。

**答** 今年度の12月29日は保護者に家庭保育の協力を依頼することとしている。その結果を踏まえ、今後の対応を検討したい。

**問** 病児保育室が不足している。独立した病児保育室を設置できないか。

**答** 病児保育室は利用者が増えており、令和5年度から市外の施設も利用できるよう調整中である。子育てしやすい保育環境づくりに努めたい。



子どもの健やかな成長を願って  
宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 社会教育、子どもの居場所づくりを活動目的としているなど一定の基準を満たした市民団体などが公共施設を利用する場合に、照明使用料の減免などを検討できないか。

**答** 公共施設については多くの人に利用してもらうことが大前提だが、一方で将来にわたって公共施設を維持していくためには、受益者負担の適正化に継続して取り組む必要もある。使用料の見直しなどの過去の経緯も踏まえた上で判断したい。

**問** 既存の社会教育団体、青少年団体などの活動が持続していくことは、子どもの居場所を持続することにもつながる。公園など公有地を使う場合は貸し出し基準を緩和するなど、子どもの居場所づくり活動を支援できないか。

**答** 団体から相談があれば、人づくりでまちづくり事業補助金の活用なども案内しサポートしたい。



子ども・若者を育むまちづくり  
宗像志政クラブ／安部 芳英



**問** 犬のフン害防止策として効果が出ている、大谷自治会の「イエローチヨーク作戦」と赤間地区の「犬の看板作成」の取り組みを広報紙などで紹介できないか。

**答** 参考にして、今後の取り組みに生かしたい。



赤間地区が取り組む犬の看板作成

犬のフン害防止策  
宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 宗像泊まつてんキャンペーン第3弾の内容と現在の販売状況は。

**答** コロナ禍の影響を受けた観光業者の支援のため、宿泊客の誘客と消費喚起を目的に9月下旬から実施。4千円分の宿泊券と千円分の地域クーポン券計5千円分を2500円で販売。また、今回は神宝館の入場割引券が大島渡船の片道乗船券として使えるチケットもつけた。好評で11月上旬に予約分は完売した。



宗像市への誘客策  
宗像志政クラブ／小林 栄二



**問** 鐘崎沖の投石やアミノ酸コンクリート投入の効果は。

**答** 良好な藻場や、アワビなどが確認できており、効果があるものと考えられる。

**問** 高度衛生管理型荷さばき所の運用体制とICT化の推進状況は。

**答** 水産業のICT化は今後、必須となる。高鮮度・高品質化につながる体制を構築し、積極的に支援していきたい。

**問** コスト削減のため、荷さばき所屋上に太陽光パネルを設置してはどうか。



宗像の漁業を活性化するためには  
未来むなかた／北崎 正則



**問** 宗像ウニプロジェクトの現在の取り組み状況と今後の課題は。

**答** 2回の実証期間を終え、現在3回目の畜養を開始し、事業化に向けてデータを採取している。ウニ専門の飲食店による味の評価では高評価を得た。今後は事業化に向けて精密な実証を行い、販路や事業用地など具体的な課題について検討する。



ウニ捕獲の様子

**問** 費用対効果も考慮し導入を考えた。御製広場や荷さばき所を活用した岬地区の今後の展望は。

**答** 周辺の整備を行い、岬地区の集客の核となるゾーン形成に生かしたい。

**その他の質問**  
農業用廃ビニール・廃プラスチックについて



鐘崎に完成した高度衛生管理型荷さばき所

**問** 障害者控除は、本人または同居の家族に障がいがある場合に、所得控除を受けることができる税制上の制度である。申請には障害者手帳が必要だが、障害者手帳を持っていない場合でも障がいの程度が同程度に準じていると市が認定すれば、最大5年間さかのぼって障害者控除を受けられる。

**問** 本市における「障害者控除対象者認定書」の交付状況は。

**答** 令和元年度が3件、令和2年度と3年度がそれぞれ6件である。

**問** 交付件数は数件にとどまっている。周知が十分でないと考えますが、今後の課題は。

**答** 周知方法の充実、見直しなどを行っていく必要はあると思うが、現状では、手続きができる人には認定書を交付しているものと考えている。

**その他の質問**  
インボイス制度について



障害者控除について  
日本共産党／川内 亮



**問** 児童・生徒の不登校が増加している理由は。

**答** 令和3年度の調査では、小・中学生ともに「本人の状況が要因である」割合が最も高く、中でも「無気力・不安」が理由として多いが、不登校の要因は非常に複雑で、はっきりしない場合もある。

**問** 不登校を未然に防ぐ取り組みと対策は。

**答** 不登校の兆候を見逃さない取り組み、いじめに対する対処、不登校やいじめへの組織的対応を行っている。今後はスクールカウンセラーの配置を充実させるなど、対策強化を検討する。



子どもが行きたい学校・居場所を  
ふくおか市民政治ネットワーク  
笠井 香奈枝



**問** 子どもの自立サポートセンター（仮称）の対応と周知方法は。

**答** ひきこもり傾向で、エールにも通えない児童・生徒が対象。リーフレットの配布や相談員などによる個別案内のほか、関係団体の協力を得ながら周知する。



子どもの自立サポートセンター（仮称）を開設する旧正助ふるさと茶屋



中学校部活動の地域移行について  
公明党／岡本 陽子



**問** 本市の中学校部活動の現状と課題、また地域移行についての課題は。

**答** 7校の中学校、義務教育学校で運動系、文化系合わせて73の部活動があり、全生徒の75%にあたる1997人が部活動に所属している。顧問は169人の教員が担当しており、その他に外部指導員が3人、補助を行う外部指導員が30人活躍している。今年度、県の補助を受けて地域移行に関する実践研究を実施。地域移行は教員の働き方改革の視点が大きい。教員の負担軽減以外にも、

**問** 有機農業定着に向けた今後の取り組みは。

**答** 有機物は化学肥料や農薬を使わず環境に配慮されたものである一方、病害虫などによる被害を一定程度受ける。収穫量は慣行栽培より少なく、除草作業などに手間がかかるため、販売価格が高くなる傾向にある。安全・安心ということを



有機農業の取り組み拡大に向けて  
宗像志政クラブ／石田 和代志



**問** ため池発電は地元農業集落にとって利点はあるか。

**答** ため池発電は、発電事業者が所有者からため池の水面を借りて、太陽光パネルを設置し、発電を行う。所有者には発電事業者から賃借料が支払われるため、この収入で、草刈りなどの作業を委託することができ、負担軽減につながる。



**問** 経験者から専門的指導を受けられる、地域が受け皿になることでスポーツ環境の継続が図られるなどの成果が見えてきた。一方、活動に要する費用、練習場所や指導者の確保といった課題もある。

**その他の質問**  
9価HPVワクチン定期接種の対応は



教育で子どもたちに夢と希望を！  
未来保守クラブ／森田 卓也



**問** 市の目指す「教育のまち・むなかた」とは。

**答** 一人一人がさまざまな場所や機会を通して学び、活躍することで、輝くまちである。今後は、学校、家庭、地域が今まで以上に協働し、特色ある教育活動を展開することで、心豊かで輝く子どもを育むとともに、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく必要がある。

**問** おなかつ子ども大学を通して、育成したい子どもたちの姿や目標像は。

**答** こんな大人になりたい、こんな仕事につきたい、人の役に立ちたい、人々を喜ばせたい、という将来の夢や志を抱く子どもになることである。



むなかた子ども大学  
(航空会社コース)

**問** イングリッシュキャンプなどを含め、子どもが年間を通して学べる環境を構築できないか。

**答** 特別授業として実施するなど、年間を通して多くのことにチャレンジできる環境をつくりたい。



不妊治療の現状と今後の支援  
日本維新の会／岩岡 良



**問** 不妊治療の保険適用開始により、かえって自己負担が増えるケースが多く報告されており、いまだ十分な妊娠支援の環境は構築されていない。

**答** 本市でも子どもにない夫婦の約3割が不妊治療などを受けているという統計も踏まえ、市独自の支援策が必要ではないか。

**問** 子どもを望む夫婦に対する妊娠前からの支援



も必要だと感じるため、出産に結びつく支援について調査検討する。

トイレ環境整備について

**問** 国は小中学校のトイレ洋式化率の目標95%としているが、本市の現状は60%である。急ぎ具体的な整備計画が必要では。

**答** 95%という数値目標を念頭に置きながら、まずは洋便器率の低い学校から優先的に改修計画を立てていく。

**問** 災害時に備え移動式トイレ導入の考えは。有効だと考えるが、先行事例など研究したい。



マイナカードの申請・交付を拡大  
公明党／石松 和敏



**問** マイナンバーカードの今後の交付率の予測は。

**答** 今年度中に交付率60%を達成したい。次年度以降は市民3人に対し2人以上の交付を目指す。カードの日常的な使い道の拡大は。

**問** 来年4月からは国が掲げる27手続き全ての受付でカードを利用したオンライン申請を開始。転出・転入、ワンストップサービスのオンライン申請も早期に開始できるよう着手している。

**問** マイナ保険証を利用できる市内医療機関は。全医療機関171か

所中58か所で約34%。原則義務化が課せられている全ての医療機関で令和5年3月末をめどに導入が進むと考える。

**問** 投票時のカード利用は。

**答** 国の制度を利用し、不在者投票の投票用紙をオンラインで請求することが可能である。



団地再生事業の展望は  
宗像志政クラブ／吉田 剛



**問** 市長の今後の展望は。

**答** 住んでみたい、住み続けられるまちを構築するため、店舗などの利便性の高い施設を誘導しつつ、住み替えの誘導を促す流れが必要と考える。

**問** さとつくり48の評価と今後の協力体制は。

**答** この取り組みが日の里地区の「ぎざぎざ」の団地再生につながった。今後民間の自主的な活動を側面から支援する。



ひのさと48



公共交通で持続可能なまちづくり  
宗像志政クラブ／井浦 潤也



**問** 9月にJR九州のダイヤ改正が行われ、本市にとっては実質的な減便となった。住宅都市としての価値が損なわれないよう、鉄道の便数維持に向けた取り組みを展開すべきでは。

**答** 今回のダイヤ改正については、JR九州に対し、増便のダイヤ改正や、特急列車利用増に向けた経済的負担の軽減策の検討を要望してきた。今後も、JR九州や西鉄バスとの連携を脱炭素の観点からもさらに深め、利用促進に取り組む。

安全な学校環境を

**問** 児童・生徒が自らの安全を確保できるよう基礎的な資質・能力を育成するため、各学校での防犯スポーツ教室を開催する必要がありますと考えるが。

**答** 危険回避を体で覚え、迅速に行動が取れることは重要である。不審者への対応も計画的に実施するよう指導していきたい。



防犯スポーツ教室でランドセルを背負って逃げる子どもたち



統一協会の公共施設使用を問う  
日本共産党／新留 久味子



**問** 統一協会による宗像ユリックス使用が判明した。

**答** 市は、統一協会および関連団体がどのような団体と認識しているのか。不法行為が社会的に指摘されている団体、一方では法に基づき認証法人であると認識している。

**問** この団体の公共施設使用について市の考えは。

**答** 国の動向を見ながら対応を検討したい。

防災訓練の在り方を問う



**問** 市民の防災意識高揚のため、自治会に出向き地域で想定される災害を出し合っていく必要があるが。

**答** 学校の防災井戸は日常的に使用されているが、使用していない学校があったため、日常からの使用を再度指導する。



下水汚泥から肥料をつくる  
市民連合／福田 昭彦



**問** ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響による化学肥料の高騰を受け、ここにきて下水汚泥からつくる肥料が脚光を浴びている。本市では下水汚泥を宗像清掃工場まで運び、焼却費用を年間8300万円払い、焼却している。これを堆肥化すれば良質の肥料となる

**答** 今は確かにお金を払って焼却処分している。これを焼かずに堆肥化して、それを農家に利用いただければ、農家の支援にもつながるのでメリットは多い。本市で

ので売却でき、それを使う農家には喜ばれるという流れができるが、市の考えは。

**問** ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響による化学肥料の高騰を受け、ここにきて下水汚泥からつくる肥料が脚光を浴びている。本市では下水汚泥を宗像清掃工場まで運び、焼却費用を年間8300万円払い、焼却している。これを堆肥化すれば良質の肥料となる



は、下水汚泥の堆肥化施設整備といった方針は出ていないが、今後、国の動向などを見据えつつ、先進地の情報収集をはじめ、肥料の需要や費用対効果、事業運営手法などについて調査研究していきたい。



ダブルケアへの相談支援体制整備  
未来むなかた／上野 崇之



**問** おなかつ仕事と育児・介護の両立支援プログラム構築に向け、女性のニーズ調査を実施予定だが、育児・介護のダブルケア問題に関する調査と啓発も行っては。

**答** 介護は突然始まるため、ダブルケア状態と認識されていない可能性がある。調査内容を検討する。

**問** 大阪府堺市が区役所内に設置しているダブルケア総合相談窓口のような相談支援体制の検討は。

**答** 国が推進する重層的支援体制整備事業への移行を検討する。



全ての子どもに行政サポートを  
宗像志政クラブ／石松 修



**問** 所得にかかわらず、市内全ての子ども、子育て世代を対象とした支援が求められているが、市はどのように考えるか。

**答** 子育て支援の制度として、子ども医療費支給制度があり、市では県の所得制限額を超え、受給できない世帯分について市単独で給付を行っている。

**問** 大島・地島の保育環境の充実が離島の活性化、人口減少対策につながると思うが、市はどのように考えるか。市立大島へき地保育所では2歳未満も保育を行うべきでは。

**答** 要望があることは承知しているが、保育士の確保が難しく、なかなか進んでいない。大島では一時預かりや住民同士でできる子育て支援がないかなどについて協議、検討を進めている。



令和4年 第4回宗像市議会定例会 提出議案と議決結果

12月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

Table with 3 columns: 議案番号, 議案名, 内容. Includes items 80 and 87.

【賛否が分かれた議案と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with 13 columns (議員名) and 5 rows (議案番号). Shows voting results for items 78, 79, 82, 85, and 88.

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

2件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について (全員賛成で可決)

(趣旨)

女性デジタル人材育成については、女性の経済的自立や成長産業への円滑な移動支援を図る観点から極めて重要である。政府は「女性デジタル人材育成プラン」を取りまとめ、人材育成の加速化を目指すこととした。また、デジタル化が進むことで、大都市一極集中という過度な人口偏在の緩和や、感染症などのリスク低減も図られるとして、大きな期待が寄せられている。よって、地方における女性デジタル人材育成の強力な推進を図るため、次の事項を強く要望する。

▼本プランの実施・遂行において、自治体規模に合わせた取り組みやすい参考事例を国と

編集後記

議員任期も折り返しを過ぎて、各委員会もメンバーがかわりました。広報編集部も新しい体制となりました。より分かりやすい議会だよりを目指して努力したいと思います。また、紙面以外でも市民の皆さんに議会の情報がより伝わる手段を調査・研究していきたいと思ひます。(石松 修)



後列左から石田和代志議員、上野崇之議員、木藤裕司議員 前列左から川内亮副会長、石松修副会長、北崎正則議員

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。



ホームページ

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ TEL0940(36)1119

決議

福田昭彦議員に対する問責決議 (全員賛成で可決) ※本件について福田議員は除斥

(要旨)

福田議員は、令和4年建設産業常任委員会行政視察で視察先の説明の際に居眠りをするなど、相手方を不快にさせる行動をした。委員長から弁明と謝罪を求められ、謝罪したが、その後の意見交換会でも、相手方を不快にさせる行動をしており、反省が認められない。コロナ禍にもかかわらず視察を受け入れ、丁寧に対応していただいた受入先の厚意を何度も裏切るこの行動は、宗像市議会議員、そして、宗像市議会の品位を著しくおとしめる行為である。また、同年8月の全員協議会で、福田議員は、自身の民事訴訟に関して謝罪し、正副議長は、これまでの行動について反省し、改善するよう注意している。しかし、その後も議員全員の出席が議決によって決定した研修会を自己の仕事を理由に欠席したことは、宗像市議会議員として、重責を置くべき議会の議決を軽んじる行為である。正副議長からは、これまで再三にわたり市民の信頼を失墜させる行動を行わないよう求めてきたが、改善されず、これ以上看過できない。よって、宗像市政治倫理条例に基づき、福田議員に次の2点を求める。▼市民の信頼に値する倫理性を自覚し、市民に対し、自らすすんでその高潔性を明らかにすること ▼市民の代表としてその品位と名譽を害するような一切の行為を慎み、その職務に関し、不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと 福田議員は、猛省することともに、事態の重大さを真摯に受け止め、宗像市議会議員としての責務を自覚されるよう宗像市議会は強く求める。

3月定例会の日程 (予定)

Table with 2 columns: 日程, 内容. Lists dates from 24th to 27th and topics like committee reports and budget.

※1 予算第1…一般会計 ※2 予算第2…特別会計・企業会計

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載されます。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などを変更する場合があります。傍聴される際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。